

平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課
5-2	1 自治会関連事務	環境にやさしいまちづくり	自治会定期送達の各課個別配布は、極力広報うたに掲載し、各戸配布を回覧にするよう指導する。また、必要回覧数と配布数を常に把握、周知徹底することによる無駄の排除。	1 月2回の庁内への周知徹底 2 配布数、回覧数の変更報告受付 3 配布数、回覧数の庁内周知徹底	無駄を排除した、適正回覧数・配布数の的確な把握と周知徹底の実施		今年度、事業予定なし	市民参加・協働推進課
5-2	2 まちづくり活動拠点施設整備	環境にやさしい地域をはぐくむ	地域全体での積極的な環境保全を推進するためのまちづくり活動拠点施設を設置し、市民・地域のパートナーシップなどさまざまな地域社会の連携体制を整備する。	・今年度事業予定なし	・現行のまちづくり活動拠点施設数 4箇所		・自治会への回覧・配布文書数の把握 各戸配布 [増] 2件 [減]5件 全戸配布数56,000部× 3=168,000部 回覧板[増]11件[減]0件 回覧数8,300部× 11=91,300部 ・庁内への周知徹底により、回覧板は増えたが各戸配布が3件減り、全体の部数は減った。(追加配布は、緊急等必要性が高い場合認め、なるべく回覧板にするよう指導)	市民参加・協働推進課
5-2	3 地域環境保全活動の推進	自然環境の保全と地域産業との調和	塩田地域における環境啓発の推進	主に自治会単位ごとに環境保全活動を実施。地区自治会連合会等諸団体や行政と連携して活動を推進。	物的効果がすぐに現れることは、取り組む事業により異なるが、市民の意識が環境保全活動に向くことが目標。		・台風18号による生活環境関連の被害が各地で発生し、その復旧が急がれている。	塩田地域自治センター
5-1	4 地域福祉の調整及び推進に関する事	環境教育の推進	地域内の住民や各種団体に向けた環境啓発等の推進	毎水曜日のリサイクル回収(ビン・缶)時での啓発。 地域協議会における地域(環境)課題に対する対応。 「わがまち魅力アップ応援事業」の受付 自治会要望の取りまとめと本庁との調整(環境関連) 窓口での転入者等へのゴミ回収等の指導	リサイクル回収の回数 環境活動や啓発の数等		リサイクル回収時、立会うことができないため、回収場所に、チラシ等を貼っての啓発を行なった。 わがまち魅力アップ応援事業について、適切に受付を行なった。 9月提出の自治会要望について取りまとめを行い、関係課と調整を行った。 窓口で転入手続された方に、ゴミ回収についてのパンフレットを渡し説明を行なった。	川西地域自治センター
3-2	5 職員の管理に関する事	エコオフィスの推進	ノー残業デー、19(育児)の日、クールビズの普及促進によるエコオフィスの推進	・ノー残業デー(水曜日) ・19(育児)の日(毎月19日) ・クールビズ(5月14日～10月31日)	・実施状況の把握		・ノー残業デー(毎週水曜日)及び19(育児)の日(毎月19日)のWeb21掲示板による周知を行い、定時退庁を促すことでエコオフィスの推進に寄与した。 ・クールビズを5月24日から10月31日まで実施中。	人材開発課
	6	環境啓発の実施	環境啓発の実施	広報うたを活用した環境啓発活動 市公式HPを活用した環境啓発活動 行政チャンネルを活用した環境啓発活動	啓発記事のページ数 環境関連記事へのアクセス数 環境啓発関係の番組数			広報情報
3-2	7 電子申請の利用拡大	エコオフィスの推進	市民からの申請業務及び内部業務での利用拡大	各課業務調査の実施及び啓発	電子申請業務数 39業務			広報情報

平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課																																
	8 地域映像のデジタル化	地域映像のデジタル化による自然環境保護、歴史・文化資源の保全・活用を啓発する	地域映像のデジタル化による自然環境保護、歴史・文化資源の保全・活用を啓発する	地域映像をデジタル化しコンテンツ作りをする インターネット、地域イントラネット、出前上映会にて地域映像を情報発信する	地域映像コンテンツ作り1作品以上 HPアクセス数150,000回以上 VODアクセス数300回以上 出前上映会24回以上		地域映像コンテンツ作り0作品 HPアクセス数72,517回 VODアクセス数93回 出前上映会7回	マルチメディア情報センター																																
	9 太陽光発電による環境への配慮	太陽光発電による環境への配慮を来館者に周知する	太陽光発電により有害物質を排出しないクリーンなエネルギーが供給できることを来館者に周知する	当センターにある太陽光発電の存在をパネルにより来館者にPRし、太陽光発電では有害物質を排出しないクリーンなエネルギーが供給できることを周知し、環境への配慮を啓発する	来館者数 36,000人以上 社会科見学 10校以上		来館者数 17,205人 社会科見学 5校	マルチメディア情報センター																																
3-2	10 庁舎管理	地球温暖化対策	地球を守る	・電気量の削減 ・燃料使用量の削減 ・コピーの使用枚数の削減	・前年度の使用量より削減		<table border="1"> <caption>上半期の使用量の比較</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>差引(25-24)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガソリン</td> <td>35,727</td> <td>34,597</td> <td>-1,130</td> </tr> <tr> <td>灯油</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td>7,499</td> <td>7,275</td> <td>-224</td> </tr> <tr> <td>A重油</td> <td>16,000</td> <td>18,000</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>都市ガス</td> <td>12,613</td> <td>11,783</td> <td>-830</td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>735,920</td> <td>701,652</td> <td>-34,268</td> </tr> <tr> <td>コピー</td> <td>8,644</td> <td>10,168</td> <td>1,524</td> </tr> </tbody> </table>		24年度	25年度	差引(25-24)	ガソリン	35,727	34,597	-1,130	灯油	0	0	0	軽油	7,499	7,275	-224	A重油	16,000	18,000	2,000	都市ガス	12,613	11,783	-830	電気	735,920	701,652	-34,268	コピー	8,644	10,168	1,524	公有財産管理課
	24年度	25年度	差引(25-24)																																					
ガソリン	35,727	34,597	-1,130																																					
灯油	0	0	0																																					
軽油	7,499	7,275	-224																																					
A重油	16,000	18,000	2,000																																					
都市ガス	12,613	11,783	-830																																					
電気	735,920	701,652	-34,268																																					
コピー	8,644	10,168	1,524																																					
	11 税務業務の効率的運営	eL-TAXサービスの拡充の取り組みとエコオフィスの推進	eL-TAXサービスの拡充による業務の改善及び市民サービスの向上とエコオフィスの推進	利用事業主、税理士への通知の送付や広報うた、市のホームページ・行政チャンネル等を活用したeL-TAXの利用推進。	申告におけるeL-TAXサービスの利用件数割合 法人市民税 50% 給与支払報告書 33% 償却資産 12%		・法人市民税の決算申告や中間申告の際に事業所にeL-TAXを利用するよう周知している。 4月～8月のeL-TAXサービスの利用件数 法人市民税 1,408件 給与支払報告書外 28件 償却資産 20件 国税連携 5,263件	税務課																																
3-2	12 印刷物の見直し	印刷物の数量、印刷内容の見直しによる環境負荷の低減	印刷物の発注に当たっては、常に仕様内容を検討する。	・各種印刷物の作成	・発注数量(概ね1年間の必要量を発注する) ・紙面の有効活用(利用者に分かりやすい紙面への工夫を図る)		本人通知制度実施に伴う、啓発チラシ、住民票写・戸籍謄抄本交付申請書の印刷に際し、適正な数量の執行に努めた。申請書は、既存用紙に追加文言を再印刷し、有効利用した。	市民課																																
- 1	13 大気汚染環境基準達成度の公表	さわやかな空気と静けさを確保する	大気汚染の防止	大気汚染環境基準達成度の公表	環境基準達成 100%			生活環境課																																
1-1	14 光化学オキシダント環境基準達成状況	さわやかな空気と静けさを確保する	大気汚染の防止	光化学オキシダント環境基準達成状況	光化学オキシダント環境基準達成状況を公表する。基準超過日45日			生活環境課																																
1-1	15 一般地域における騒音調査及び測定(一般地域騒音環境基準達成度)	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	一般地域における騒音調査及び測定	一般環境について、市内11地点の騒音を調査測定し、騒音の状況を調査する。環境基準達成率90%以上		一般環境は1月に測定を行う予定。	生活環境課																																

平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課
1-1	16	道路交通騒音調査及び測定(道路騒音環境基準達成度)	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	道路騒音の常時監視における騒音調査を実施する。	測定を100%実施する。	道路騒音は1月～2月にかけて実施予定。	生活環境課
- 1	17	新幹線鉄道騒音調査及び測定(新幹線鉄道騒音環境基準達成度)	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	新幹線鉄道の騒音・振動について調査・測定を実施。測定予定ヶ所2地点(下堀地区)	100%実施する。	10月に実施予定。	生活環境課
1-2	18	合併処理浄化槽設置整備事業(合併処理浄化槽設置整備事業実施基数)	きれいな水と安全な土壌を確保する	水質汚濁の低減	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での新設7基	上田地域の補助実績は、9月末現在5基となっている。 上田5基、丸子2基、真田7基、武石1基	生活環境課
1-2	19	河川水質調査及び検査(主要河川のBOD環境基準値達成度)	きれいな水と安全な土壌を確保する	水質汚濁の低減	市内河川の調査地点について、河川の状態を把握するため水質調査を実施する。この結果は、環境レポート等で公表していく。	毎月市内主要河川の水質検査を実施し、計35地点の検査により水質監視する。	河川の水質検査を予定どおり実施。	生活環境課
1-2	20	地下水水質調査及び検査(地下水環境基準達成度)	きれいな水と安全な土壌を確保する	地下水汚染の防止	市内の地下水(井戸水)について、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素を含む水質検査を実施する。	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の基準値達成。	地下水(井戸)の水質検査は、11月に実施予定。	生活環境課
1-2	21	地下水水質調査及び検査(地下水有機塩素系化学物質の基準値達成度)	きれいな水と安全な土壌を確保する	地下水汚染の防止	市内12地点の地下水(井戸水)について、年一回低沸点有機塩素系化学物質(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,1-トリクロロエタン)を含む項目を調査。	低沸点有機塩素系化学物質(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,1-トリクロロエタン)の環境基準値の達成。	地下水(井戸)の水質検査(低沸点有機塩素系化学物質(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン)を含む項目)は、11月に実施予定。	生活環境課
1-3	22	ダイオキシン類の環境汚染調査(ダイオキシン類環境基準達成率)	有害化学物質による汚染を未然に防止する	有害物質による汚染の防止	年一回、一般環境大気4ヶ所、河川4ヶ所、土壌3ヶ所等について調査。	環境基準値達成。	ダイオキシン類測定を12月に実施予定。	生活環境課
- 1	23	全市一斉アレチウリ駆除の実施	森や里山を守り・親しむ	持続可能な森林・里山の保全・整備	全市一斉アレチウリ駆除の実施	全市一斉アレチウリ駆除日の実施	市全体で68自治会で実施。 参加人数 2,589人 駆除 3,086kg	生活環境課
2-2	24	河川愛護活動(河川愛護団体数)	水辺環境を守り・親しむ	持続可能な水環境の保全	河川愛護活動の実施	河川活動をした団体数 5 2団体	予定どおり実施し、下半期に県へ報告の予定。	生活環境課

平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課
3-3	34 雨水貯留補助	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進めます。	雨水貯留施設設置費補助	38件		9月末現在、14件の補助を実施。	生活環境課
4-3	35 ごみゼロ運動の参加人数	調和のとれた美しい景観を保つ	地域美化活動を推進します	・広報への掲載 ・ゴミゼロ運動の実施(県下一斉に年1回).. 地区別4回に分けて実施する	参加者人数 10,000人		各自治会、市職員によるゴミゼロ運動を予定通り実施し、計14,988人が参加しました。	生活環境課
5-2	36 うえだ環境市民会議主催の駅前清掃の支援	環境にやさしい地域をはぐくむ	うえだ環境市民会議を開催し、市民、事業者、行政とのパートナーシップにより環境改善活動を推進します	うえだ環境市民会議主催の駅前清掃の支援	駅前清掃の支援 3回		駅前清掃の支援 2回を実施。10月に3回目を実施予定。	生活環境課
3-1	37 生ごみ堆肥化事業	循環型社会の形成に努める	廃棄物の減量・リサイクルの推進	1 生ごみ堆肥化モデル事業 2 ごみ減量化機器等購入費補助事業	1 モデル事業における生ごみ処理量の拡大 2 ごみ減量化機器利用者の増加 3 1人当たりのごみ排出量の減少		1 生ごみ堆肥化モデル事業 ・小中学校6校、保育園1園(新規)から生ごみを回収し、試験施設で堆肥化 堆肥化実績 3.4t(昨年度同期より1.5t増) 2 ごみ減量化機器等購入費補助金 ・広報うえだ等で補助制度を周知 ・補助実績(容器、処理機)147台 実績数値は9月末現在	廃棄物対策課
3-1	38 市民協働による環境にやさしい地域の創造	循環型社会の形成に努める・環境にやさしい人をはぐくむ	資源循環型社会の形成に向けた意識の高揚	1 エコ・ハウスの運営 2 ごみ減量アドバイザーの活動	1 エコ・ハウス来館者数 2,000人以上 2 エコストアの現状把握		1 エコハウスの運営 ・各種講座の開催、情報発信(随時) ・6月から新たに「古着回収」に着手 回収実績 7.15t(9月末現在) 2 ごみ減量アドバイザーの活動 ・啓発活動は随時実施 ・ごみ減量化機器使用状況調査を実施	廃棄物対策課
3-2	39 市営住宅の管理	環境負荷の低減(口座振替の推進、入居者への環境啓発)	事務事業の効率化と環境啓発	全入居者通知の機会(年2回)に口座振替利用の奨励と環境啓発文を掲載	口座振替率 87.00%以上		6月に全入居者に送付した通知に、「節電、節水を呼びかける言葉」を刷り込み、環境啓発に努めた。 口座振替率については、入居説明会の際に奨励を行った結果、新規入居者は100%となった。全体では、9月末現在87.0%である。	住宅課
3-2	40 国民健康保険、高齢者医療保険、国民年金の各事業全般にわたる事務事業	エコオフィスの徹底による環境への配慮	節電、コピー用紙、紙ごみの削減	コピー用紙の削減化 ・裏紙、2in1コピーの活用 ・リサイクルの徹底による可燃ごみ排出の抑制	25年度のコピー枚数目標 108,000枚(23・24年度平均値×99%)		前年よりは減っているが、窓口対応としてコピーをせざる得ない状況があり、増加傾向にあるため注意していきたい。	国保年金課
5-1	41 環境にやさしい保育園づくり	環境教育の推進	保育園での環境教育・環境活動を推進し、環境に対する意識啓発を図る	「ばっくん」を使い、生ごみを土に還す事を環境教育として推進する。	搬出生ごみの減量 堆肥として菜園等での利用 園児・保護者が興味を示すこと		各保育園・幼稚園で「ばっくん」を活用して環境教育を行っている。	保育園

平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課
3-2	42 太陽光発電設備の設置	新エネルギー事業の推進及び環境教育の推進	公共施設における太陽光発電の導入を促進し、併せて環境意識の啓発を図る	保育施設の改築建替えに伴う太陽光発電設備設置を検討する	神科第一保育園建替事業の実施設計において、具体的な設置計画を盛り込む。		神科第一保育園建替事業の基本設計において、太陽光発電設備の設置方針を確認している。今後の実施設計において具体的な設置計画を盛り込む。	保育課
5-2	43 「国際規格審査登録事業」助成金	環境にやさしい地域を育む	ISO1400等をはじめとする国際規格の取得に要した経費を助成することで、市内事業者の環境意識の向上を醸成する。	補助制度によりISO1400S等の国際規格の取得を支援する。	補助制度の利用実績		・市広報により制度の周知を図った。 ・事業所訪問により、制度周知を図った(22件)	商工課
3-2	44 「新技術等開発事業」助成金	廃棄物の減量と資源再利用の促進 エネルギーの有効利用	環境にやさしい「新技術等の開発」を行った業者に対し応援します。	事業者への補助事業制度の周知を事業所訪問で行う。	事業所訪問で説明20件(制度の主旨・目的)		・事業者訪問等で補助金利用の案内を行った。(10件)	商工課
3-2	45 エコオフィスの推進	温室効果ガス排出の抑制	コピー用紙の節減・可燃ごみの減量・エコドライブの推進	コピー用紙の節減、可燃ごみ減量及びエコドライブの推進	コピー用紙の使用枚数が、前年度を下回るよう徹底する。 可燃ごみ減量及びエコドライブについて、意識啓発を進める。		平成25年度雇用促進室のエコオフィス環境目的として、コピー用紙の削減及び可燃ごみの減量の・エコドライブの推進によるエコオフィスの推進を環境目標として取組んでまいりました。上半期の進捗状況は、9月までのコピーの使用枚数は11,200枚となり、やや遅れとなっています。可燃ごみ減量については、リサイクル化や分別を周知徹底し、可燃ごみの減量に努めました。また、事業所訪問時等の公用車使用時においてエコドライブの推進に努めました。	雇用促進室
3-2	46 池波正太郎真田太平記館の管理運営	利用者への環境啓発 エコオフィスの推進(一人当たりの電気・水道量等の削減)	電気等の節減と入館者数の増加(環境啓発とエコオフィスの推進)	環境啓発に関するポスター等の掲示 入館者増加により、一人当たりの光熱水費の抑制 光熱水費の節減(節電の徹底、施設内の適正な温度管理) 来館者向け環境啓発の具体的取組み検討	入館者数年間3万人以上。一人当たりの電気量5kwh以下。		上半期(4月～8月)は、池波正太郎生誕90年及び当館開館15周年を記念した企画展を開催したことで多くの入館者があった。 一人当たりの電気量3.78kwhで目標を達成。 【4月～8月】入館者数16,808人、電力使用総量63,476kwh	池波正太郎真田太平記館
2-3	47 認定農業者(担い手)の確保	農地の保全・活用	担い手の確保により農地の保全・活用を図る。	担い手農家となる認定農業者の更新と、新規認定の促進	認定農業者数合計 25年度目標 合計240経営体			農政課
2-3	48 荒廃農地の再活用	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。	農地の再生利用の促進	補助金交付により再生が実施される面積 25年度目標 10ha			農政課
2-3	49 担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 25年度目標 80ha			農政課

平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課												
2-3	50 農業法人(担い手)の確保	農地の保全・活用	担い手となる農業法人の確保により農地の保全・活用を図る。	新たな法人の設立への支援	集落営農組織の法人化の検討 2件			農政課												
2-1	51 造林事業	森や里山を守り・親しむ	森林の育成・保全を図る	森林の多面的機能や公益性を維持するため、継続的な間伐等の整備を行う。	私有林間伐200haの実施		現在、市内全域の15団地、面積205haについて山林所有者の同意を得る作業等を行っており、このうち1団地の5.39haについて施業を完了しました。	森林整備課												
2-1	52 松くい虫防除対策事業	森や里山を守り・親しむ	松くい虫被害を防除し、健全な松林を育てる	松くい虫被害の拡大を抑制するため、被害木の被害木の全量伐倒駆除の実施	○被害木7,060㎡の伐倒薬剤処理		9月末現在で4,989m <sup>3</sup> の処理を実施。(目標値の70.7%)	森林整備課												
2-1	53 樹種転換事業	森や里山を守り・親しむ	樹種転換により、松林の保全を図る。	アカマツ林を全て伐採し広葉樹に植え替えることにより、松くい虫被害の拡大を抑制を	被害木10haの樹種転換の実施		県の定めた「松くい虫被害対策としてのアカマツ林施業指針」において、「6月から9月までは、マツノマダラカミキリの活動時期であり、伐採を伴う森林施業は行わないこと」とされているため、上半期の実績は無い。	森林整備課												
2-1	54 農業用水路の多自然型水路整備箇所	自然・生き物・人が共生するまち	農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	地元への啓発活動	地元からの要望を受け、順次整備を図る		上半期は特に要望なし。	土地改良課												
2-2	55 多自然河川整備状況	自然・生き物・人が共生するまち	ホタル水路の環境整備を図るとともに、啓発活動に努める。	地元との協働により、市役所ロビーにおいて、啓発ポスターを掲示。	ホタル水路に係る啓発活動		H25.7.10～H25.7.26の17日間、市役所1階ロビーにてポスター展示。	土地改良課												
1-1	56 市営駐車場の管理運営	環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	パークアンドライドを促進します。	快適に利用できる駐車場の管理運営	市営駐車場駐車台数 年 310,000台		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">25年9月末までの状況</th> </tr> <tr> <th></th> <th>台数</th> </tr> <tr> <td>お城口駐車場</td> <td>42,305</td> </tr> <tr> <td>温泉口駐車場</td> <td>14,237</td> </tr> <tr> <td>お城口第二駐車場</td> <td>94,166</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>150,708</td> </tr> </table>	25年9月末までの状況			台数	お城口駐車場	42,305	温泉口駐車場	14,237	お城口第二駐車場	94,166	計	150,708	管理課
25年9月末までの状況																				
	台数																			
お城口駐車場	42,305																			
温泉口駐車場	14,237																			
お城口第二駐車場	94,166																			
計	150,708																			
4-3	57 放置自転車の撤去及び処分	環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	上田駅周辺の放置禁止区域における自転車等の駐車をなくします。	放置禁止区域における警告書の貼付	放置自転車撤去件数 年400台以下		25年9月末 放置自転車撤去件数 118件	管理課												
実施しない	58 電線共同溝園長						今年度、事業予定なし	土木課												
4-3	59 景観形成事業	緑あふれるまちをつくる	街路樹植樹事業	街路樹の植樹予定なし	街路樹の整備が望まれる路線立上げの検討		来年度(平成26年度)実施計画において、新規路線の立上げを目論見ましたが、事務査定において、「項目計上」、「項目削除」となり、今年度の目標達成は厳しい状況となりました。	都市計画課												

平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課
4-3	60 まちなかレンタサイクル事業	さわやかな空気と静けさを確保する	自転車を貸し出し、自動車に頼らない市街地移動を推進する	上田駅周辺の放置自転車を整備して貸し出す。 貸出し可能自転車：常時15台	利用者数：2,500人		4月から9月までの利用者数2,092人	都市計画課
4-3	61 景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	生垣設置の補助を行い、緑化の推進を図ります	・広報うえた、行政チャンネル等でのPR ・補助件数15件(予定)	・補助金を出した生垣の延長 (本年度延長150m)		・申請件数8件 ・生垣総延長97メートル ・交付決定額387,710円	都市計画課
4-3	62 景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観づくり市民団体等の認定	景観づくり市民団体及びアダプトシステム協定締結団体等の検討	景観づくり市民団体数、及びアダプトシステム協定箇所数(各1)		・丸子地域においてアダプトシステム協定の検討をしている団体が1団体あり。	都市計画課
4-3	63 景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観づくり協定の締結を推進し、優れた街なみの形成を図ります。	景観づくり協定締結に向け地区の検討	認定数(1)		・協定締結の誘導に向けた地区を検討中。	都市計画課
4-3	64 景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	市民・事業者に対する景観づくりの意識啓発をします。	景観ウォッチングの実施	景観ウォッチングの実施回数(2回)		・1回目の景観ウォッチングを10月開催予定。	都市計画課
2-1	65 公園の建設	緑あふれるまちをつくる	公園の整備を促進する。	-1 上田城跡公園 バリアフリー化工事 園路舗装 L=400m -2 上田城跡公園 バリアフリー化工事 園路舗装 L=300m 市民緑地広場 整備工事	旧上田地域の一人当たり都市公園面積を13.29㎡/人とする。		・市民緑地広場整備については、建築本体工事が遅れる見通しであることから、その進捗状況を確認しながら年度内発注に向け設計中。 ・上田城跡公園バリアフリー化については、当初予算分は発注し、現在施工中。補正予算分については、年内発注に向け設計中。	公園緑地課
4-2	66 花と緑のまちづくり推進事業の実施(2)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花苗配布 135,000本	・地域自治会等に配布する花苗本数(135,000本)		・夏苗を6月に82,296本配布。秋苗は10月に63,000本配布の予定で準備中。	公園緑地課
4-2	67 花と緑のまちづくり推進事業の実施(1)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花の種銀行 口座開設者数 771人 ・種から育てる花づくり講習会の開催3回	・花の種銀行会員数(延べ口座開設者 775人) ・花づくり講習会 開催回数 年間3回		・花の種銀行の口座開設者数は、9月末現在で784人。 ・花づくり講習会は、5月、8月に実施。	公園緑地課
4-2	68 緑地の保全(染屋台グリーンベルト保全事業)	緑あふれるまちをつくる	緑地の保全	里山整備ボランティア 年6回	市街地近郊の貴重な自然環境を形成している染屋台グリーンベルトを環境保全(地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和)の面から積極的に保全を必要があることから、上記事業を実施し、市民の理解を深める。		・里山整備ボランティアを、5月から9月まで月1回の計5回実施。	公園緑地課

平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課
1-1	69 循環バス運行施策	1 きれいな空気の確保 1 環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	15 公共交通機関であるバスの利用促進を図り、自家用車の使用を軽減させます。	「上田市循環バス」と「オレンジバス」の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	循環バス等利用者 目標 60,000人		10月からの運賃低減バスの運行開始に向けて、市内全戸にコミュニティバスを含めた「上田市バスマップ」を全戸配布し、利用促進に努めた。引き続き課題等の把握に努めるとともに、利用啓発活動を進めていく。	地域交通政策課
1-1	70 地域鉄道の利用促進	さわやかな空気と静けさを確保する	公共交通機関である地域鉄道の利用促進を図り、自家用車の使用を軽減させます。	上田電鉄別所線としての鉄道の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	上田電鉄別所線利用者 目標 1,180,000人		別所線については、別所線電車存続期成同盟会を中心とした利用促進イベント等を開催し、利用促進に努めた。しなの鉄道については、沿線市町で構成するしなの鉄道活性化協議会との連携により、利用促進に資する事業を実施した。	地域交通政策課
3-3	71 施設建設事業	資源を活かした公共工事を推進する。	建設工事にあたり、環境に配慮した計画・設計及び工事施工に努める。	1 計画・設計における環境配慮 2 工事施工における環境配慮	別紙様式 G 1 のとおり		上半期において実施設計 9 件及び工事 4 2 件を発注し、環境へ配慮した設計及び施工に努めている。	建築課
3-1	72 財務会計事務の改善	循環型社会の形成に努める	財務会計事務の向上による紙使用量の削減を図る。	各種研修会の開催 適正帳票率の向上 支払伝票の削減	・適正帳票率・・・96.0%		・新任会計事務担当者研修会 1 回実施 (5/30) 参加者 39 名 ・財務会計システム研修会 1 回実施 (6/25) 参加者 18 名 ・財務会計事務担当者研修会 3 回実施 (7/29・30) 参加者 69 名	会計課
5-3	73 庁用汎用封筒に係る封筒印刷業務	環境活動を発信する	環境関連情報を発信し、グリーン購入の推進と啓発を図る	会計課印刷による市役所使用封筒に、「再生紙使用」と、「チャレンジ 25」のロゴを入れ、市職員の意識の啓発を図ると同時に、上田市の取り組みを広く市民にアピールする。	各種封筒等の必要印刷枚数を一定の指標とする。		・10月に印刷する予定 広告掲載については広告代理店に依頼済	会計課
5-1	74 水環境保全事業	水環境の保全	水環境の保全に関する意識の啓発を図る。	団体等への支援	・管平地区における油流出事故の防止を図る。 ・うえだ環境フェアに出展し、水環境保全の啓発を行う。		・10月19日に開催する「うえだ環境フェア」に出展するため、河川の汚染防止についてのパネルを新規に作成中 ・11月頃に油流出事故防止啓発ビラの配付を行うことを7月に開催した会議で決定した。	経営管理課
1-2	75 下水道の普及促進	きれいな水の確保	公共下水道事業、農業集落排水事業等を推進します	・取付管立会い時の啓発(随時) ・戸別訪問の実施(通年) ・下水道未接続者に対する啓發文書発送	水洗化率 ・平成25年度末の下水道水洗化(利用)率を88.7%に向上させる。 確認申請件数 ・615件を目標とする。		・戸別訪問については、農集地区454戸、公共上田処理区1,172戸、合計1,626戸を訪問、順調に進んでいる。・新規確認申請件数については、目標615件に対し9月末339件と55.1%の達成率となった。	サービス課
1-3	76 鉛給水管布設替	有害化学物質による汚染を未然に防止する	鉛給水管の解消	鉛給水管布設替 計画修繕対応 420 件 故障修繕対応 80 件 水道本管工事対応 件 計 500 件	鉛給水管布設替(発注件数も含む) 計画修繕対応 319件 故障修繕対応 49件 水道本管工事対応 件 計 368件			水道課
1-2	77 公共下水道事業、農業集落排水事業	きれいな水と安全な土壌を確保	公共下水道事業、農業集落排水事業を推進する	・管きよ整備 L=2.9 km	・普及率97.3%(上田地域 74.9%)		・管きよ整備は、約L=2.0 km発注済 ・普及率は年度未算出	下水道課



平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課
3-2	78 小中学校 改築事業	地球温暖化防 止活動の推進	環境にやさしい学 校づくり	小中学校への太陽光 発電システムの導入 について検討	学校改築事業にあわせて、 新たな太陽光発電システム の導入について検討する。		学校改築事業にあわせて、新 たな太陽光発電システムの導 入について検討。	教育総務課
3-2	79 給食業務 の環境へ の取り組 み	食品廃棄物の 抑制と再利用	環境にやさしく、 安全で安心なおい しい給食づくり	食品残渣減少の取 り組み ( 残菜調査、学校訪 問、児童・保護者へ のPR ) 食品残渣の飼料と しての利用 地元農産物の使用 BDF燃料の使用量	食品残渣の発生量 地元農産物の使用 量 BDF燃料の使用量		センターへの施設見学は4校 ( 238名 ) PTAの試食会は9回 ( 234名 ) 実施。 学校への訪問は1・2年生を対 象に5月～6月に実施した。 毎月1回の指導委員会を開 催。 残渣量は猛暑の影響で多目 だった。 地元産野菜・BDF燃料の使用 量は順調に進んでいる。	第二学校給食 センター
5-1	80 環境にや さしい学 校づくり 事業	環境にやさし い人を育む	学校での環境教 育・環境学習活動 を推進します	・光熱水費削減の取 り組み結果を評価 し、環境教育の推進 に資するための予算 を各学校へ追加配当 する。	・光熱水費の削減量 ・学校ISO計画を全小 中学校で作成し、実行する			学校教育課
5-1	81 学童農園 事業	環境にやさし い人を育む	学校での環境教 育・環境学習活動 を推進します	・児童による田植え は、協力者、地方事 務所の指導による手 植え。 ・夏場はあぜ等の草 取りを中心に田の管 理を行う。 ・収穫は手刈りで行 い、はげにかけ天日 乾燥する。 ・脱穀、わらまき等 も児童が主となって 行う。 ・収穫祭に協力者を 招き、全員で収穫を 祝う。	・上田地域小学校( 1 6 校 )の5年生 1,183 人 ・平成2 5年度の耕作面積 15,880 m <sup>2</sup> ( 保全農地面積 )			学校教育課
5-1	82 Y A ッ H O - の発 行	環境問題など について掲載 し、子どもや 親の意識啓発	環境記事・情報を 年1回以上掲載す る。	記事・情報として、 環境問題などにつ いて掲載し、子ども や親への意識啓発の 機会とする。	環境記事・情報を年1回以 上掲載する。		2月に発行予定	生涯学習課
2-1、2-2	83 自然活動 体験教室 事業	川遊びやキャ ンプを通じて、 身近な自然 とのふれあい	自然体験活動事 業を年4回実施す る	千曲川、菅平高原等 での川遊び、野外体 験活動を通じて市民 に身近な自然とのふ れあいを体験して もらう	自然活動体験事業を年4回 開催する		6月1日実施 29人参加 7月13日実施 158人参加	生涯学習課
2-1	84 地域青少 年育成指 導者養成 講座	子ども向けの レクリエー ションや野 外体験活動な どの指導者を 養成する。	ネイチャーゲー ム、野外活動全般 の講習会等を年5 回以上開催する。	登山講習、登山、安 全講習、キャンプ技 術講習、スノー シューで山歩きの各 講座を開催する。	自然体験活動全般の講習会 等を年5回以上開催する		5月18日 12人参加 6月1日 13人参加 6月29日 17人参加 7月28日 7人参加	生涯学習課
5-1	85 地域青少 年育成指 導者養成 講座	地域における 環境保全活動 及び住民への 環境啓発の推 進	市民の環境に関 する意識の啓発を 図っていく。	1 環境教室の実施 ・旬の野菜を使っ た料理教室(年12 回) ・自然に親しむ講 習会(年4回) ・太郎山自然観察 会(年2回)・地球- ビジョン講座(年4回) 2 団体等への支援 ・里山づくり支援 事業(年6回)	・すぐに効果は期待できな いが、住民の環境に対する 意識を高める。		環境講座「自然に親しむ講習 会」については、講師の諸事 情により、上半期は開催でき なかったが、下半期において 開催していく予定である。	西部公民館

平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課
5-1	86 公民館各種講座事務	環境教育の推進	自然観察をテーマとする講座を開催し、市民の環境問題に対する意識の啓発を図る。	自然観察をテーマとした講座の開設：4講座 「公民館だより」を中心に参加者を募集その他環境関係に関する講座の開催	開催講座数を増やす。 参加者の意識の向上を図る。		モイワナズナの配布を4月8日に100名には配布した。自然観察会は講師の都合により現在まで開催していないが10月から3回を予定している	城南公民館・解放会館
5-1	87 公民館各種講座事務	環境教育の推進	環境問題に関する講座を開設し、市民の環境に関する意識の啓発を図ります	自然観察講座4回、野鳥観察講座2回、水生生物観察講座1回、工作教室3回、暮らしイキイキ講座4回	青少年・成人教育で環境に関する講座を開催し、環境に対する意識を高める 目標講座数 13講座 参加者数 200人		各講座をほぼ予定通り実施しました。工作教室は実施せず、夏休みわいわい塾の中で、エネルギーショーを実施した。受講生は延べ280人(9月末現在)	上野が丘公民館
5-1	88 公民館各種講座事務	環境教育の推進	環境教育の推進を図り、市民の環境に対する意識の啓発を図る。	1 住民環境啓発講座実施 里山を中心としたふるさとづくり講座 川西花いっぱい倶楽部 川西こども広場 親子自然観察会 3 花壇の整備	成人・青少年教育に関する講座を通して、自然保全、自然とのふれあいを中心に環境に対する意識向上を図る。 ・成人教育 15回 ・青少年教育 4回 公民館花壇等の整備を通じて自然とのふれあいと地域の環境保全に対する意識を向上する。		1 住民環境啓発は実施済み 2 講座実施 里山を中心としたふるさとづくり講座 6回中5回実施済み 川西花いっぱい倶楽部 6回中4回実施済み 川西こども広場 3回中1回実施済み 親子自然観察会 実施済み	川西公民館
5-1	89 環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	6月の環境月間にあわせ小中学校向けに本の紹介、テーマ本展示コーナーに環境関係の本を展示し、市民に啓発する。11月の図書館まつりでは本のリサイクル市などを行い、本の有効利用を図る。			6月の環境月間に合わせて、テーマ本の展示コーナーに環境に関する本を展示し、市民に啓発を図った。	上田図書館
5-1	90 文化芸術振興事業	チラシ・パンフレット印刷に伴う環境配慮	市民の環境に対する意識の啓発	文化芸術振興事業に関するチラシ・パンフレット等印刷物に環境に対する啓発の文言を加える。	チラシ・パンフレット等印刷物に啓発文言の記載		「上田城跡館」のチラシ、パンフレットに再生紙及び大豆インクを使用した。	文化振興課
4-1	91 文化財の保存・整備	指定文化財の保存・整備に努めるとともに指定文化財の増加に努める。	文化財の調査・指定・保存・活用・後継者育成	指定文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への登録の推進	文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への2件以上の登録		6月に2件が国の文化財に登録。昨年度の指定物件の継続審議分については、調査の進展次第文化財保護審議会を開催。	文化振興課
5-2	92 天然記念物の保護	天然記念物の保護及び生息地の環境保全に努める	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発	・天然記念物の増加 マダラヤンマ・ミヤマモンキチョウ ミヤマシロチョウ・ベニヒカゲ等 ・食草であるクロマメノキの保護		市指定文化財のマダラヤンマとその生息地の保護パトロールは、地元のボランティアで予定通り実施した。	文化振興課
3-2	93 環境への負荷の低減に係る啓発事業	歴史・文化を未来に引き継ぐ。地域の歴史・文化・誇りを次世代に伝える。		「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発(館内掲示)を行う。 事務の効率化(納付書の活用)を図る。	事務の効率化(納付書の活用)を図る。 70%以上(金額割合)		・積極的に納付書による納付を促めている。	市民会館
4-1	94 博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①博物館講座ほか左記のとおり 観覧券・しおり・ポスター・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)		・来館者は、4月～8月までに37,070人であった。 ・教室等も予定どおり実施されている。	博物館

平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課
4-1	95 博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①茶道教室ほか左記のとおり しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)		・来館者は、4月～8月までに2,103人であった。 ・教室等も予定どおり実施されている	武石ともしび博物館
4-1	96 記念館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①美術教室ほか左記のとおり しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)		・来館者は、4月～8月までに15,145人であった。 ・教室等も予定通り実施されている。	山本県記念館
4-1	97 信濃国分寺資料館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出 環境にやさしい施設運営(リサイクルを推進し廃棄物の減量を図る)	史跡見学会ほか左記のとおり 公園の剪定された樹木のチップ化、落ち葉の腐葉土化など	来館者数 リサイクル率100%		・樹木のチップ化も100%である。 ・入館者は、4月～9月までに5,118人。	信濃国分寺資料館
5-1	98 各種大会時のごみ減量の啓発	ごみ減量の促進	ごみ減量の啓発	各種大会等	各種大会時ごみ減量の啓発			スポーツ推進課
	99 各監査、審査及び検査の実施	環境に配慮した事務事業の改善	監査等の際に事務事業の改善を指導	・例月現金出納検査(毎月) ・定期財務監査(5月～10月) ・決算審査、財政健全化判断比率等の審査(4月～8月) ・行政監査(10月～2月) ・財政援助団等監査(9月～2月)			監査方針に基づき、概ね順調に各種監査等を実施している。 ・例月現金出納検査(毎月) ・定期財務監査(11/14に講評実施予定) ・決算審査・健全化比率審査(8/27意見書提出) ・行政監査(9月～着手中)	監査委員事務局
2-3	100 遊休荒廃農地の解消等による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る(数値目標平成25年度遊休荒廃農地解消面積10ha)	・遊休荒廃農地の解消 ・利用状況調査の実施 ・新規発生分の意向調査実施 ・遊休荒廃農地解消補助金等の制度の広報(農業委員会だより)	・補助事業等を活用した遊休荒廃農地の解消 25年度解消目標面積10ha		・5月役員会でH24利用状況調査及び意向調査結果を報告した。調査結果を解消に向けてた取り組みに有効活用を図るため、全委員および関係機関へ配布した。 ・10月から12月にかけて行うH25農地利用状況調査の要領を定め、担当農業委員へ資料の配布を完了。 ・5地区11筆0.6ha解消済み、7地区70筆6.0ha再生作業取組中。	農業委員会事務局
5-3	1 丸子地域自治センターだよりの発行	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「環境を思いやる人があふれるまち」を実現するため、自治センターだよりに環境保全に関する情報を掲載し啓発を行います。	丸子地域自治センターだよりの発行 環境保全に関する情報を掲載する。	各号に環境情報を掲載(計6回)		計画どおり遂行している	丸子地域振興課
5-2	2 わがまち魅力アップ応援事業	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「自然・生き物・人が共生するまち」を実現するため、自治会や市民団体が行う環境保全活動等を支援・協力します。	わがまち魅力アップ応援事業の実施	実施団体目標 9団体		第2回目の申請で目標は達成できている。今後更なるPRによって実施団体を増やしたい。	丸子地域振興課

平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課
3-2	3 グリーン購入の実施	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくりを行う	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、グリーン購入率を高めます。	物品調達におけるグリーン購入の推進	物品調達におけるグリーン購入率を66%以上とする		・平成25年度上半期グリーン購入の推進状況(4月～9月のグリーン購入率:63.3%) ・平成24年度上半期グリーン購入の推進状況(4月～9月のグリーン購入率:80.8%) ・グリーン製品の指定がない資材の購入が多かった為購入率が下がった。	丸子地域振興課
3-2	4 消費電力量の削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	庁舎の電力消費量削減	前年度実績の12%減 (291,379kwh)		・エレベータ休日停止(H22より継続) ・不使用電源のスイッチ等を就業時切るように掲示板にて告知 ・平日夜間(21時～7時)エレベータ停止を実施(4月より18時～7時に延長実施) ・H25上半期電気使用料141,159kwh(H24前期比150,945kwh、9,786kwhz(6.10%))	丸子地域振興課
3-2	5 丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	前年度実績の0.5%減 (31,014kg)		・H25上半期 15,160kg(181kg増・保育園(東内・中丸子)の枯れ草等の処理で増加) ・可燃ごみの削減について、ゴミの分別を徹底(リサイクル雑古紙等で排出して可燃ごみを削減)を通知	丸子地域振興課
3-2	6 集中管理車のガソリン及び軽油の使用量の削減	二酸化炭素の排出を抑制し地球温暖化の防止	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、ガソリン及び軽油の使用量の削減を目指します。	集中管理車11台のガソリン及び軽油の使用量の削減	一昨年度実績の±0.0%		・平成25年度上半期車両燃料使用量削減状況(4月～9月) ガソリン1925,320前年比△7.3%、 軽油3404,440前年比 4.42%増 ・平成24年度上半期車両燃料使用量削減状況(4月～9月) ガソリン1925,320、 軽油3404,440 バス車両の運行増により軽油増(25/4上田地域の5分バス代替運行ほか)	丸子地域振興課
3-1	7 丸子地域消費生活展の開催	循環型社会の形成に努める。環境にやさしい地域をはぐくむ。	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努める。	丸子地域消費生活展の開催(委託)11月9日(土)開催予定	来場者予定数 600人 アンケートによる来場者満足度 90%以上		8月28日 第1回実行委員会開催 9月13日 役員会開催 9月26日 第2回実行委員会開催 10月16日 全体会議開催予定 11月10日(土)開催予定	丸子市民生活課
4-3	8 犬猫の糞尿害対策	調和のとれた美しい景観を保つ	犬猫の糞尿害に対する対策を推進する。	犬猫の正しい飼育方法の周知 自治会による周知や看板設置の協力依頼(随時)	苦情件数 10件以下		4・6・9月 犬猫の正しい飼育方法についてチラシを自治会回覧した。 犬猫の糞害苦情申立人に対し、啓発看板を配布した。 苦情件数 4件(訪問指導・看板設置)	丸子市民生活課
3-2	9 防犯灯修繕(LED化)補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	地域内の全防犯灯を平成23年度から5年計画でLED照明へ交換する。	申請に対する補助金の交付	防犯灯のLED照明への交換(470基/2,355基)		本年度配分数 26自治会470基 交付決定済数 26自治会470基 実績報告件数 23自治会376基	丸子市民生活課
1-2	10 合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進する。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での設置2基		上半期交付決定数 3件	丸子市民生活課

平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課
4-3	11	上田市ポイ捨ての防止等に関する条例に基づく環境美化活動の推進	調和のとれた美しい景観を保つ	ポイ捨て等防止条例に基づき環境美化活動を推進する。	環境美化監視員によるパトロール	パトロール回数 11ヶ月×4班×3回=132回 (5~3月)	パトロール回数 4班 月3回 延べ60回 不法投棄のごみの量 4,990kg (目標の53.3%) (エコオフィス改訂作業に伴い18月末締め切りとなっていることによりパトロール回数は予定の73回より少ない)	丸子市民生活課
4-3	12	ゴミゼロ運動の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	ゴミゼロ運動の実施(県下一斉に年1回) 丸子地域は自治会ごとに随時実施 ポイ捨て・不法投棄等の収集	参加人数 5,000人	参加人数 4,257人(達成率85.2%)	丸子市民生活課
4-3	13	河川パトロール・清掃の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	河川パトロール及び河川清掃(依田川・内村川・塩川沢・矢ノ沢) 年2回	河川パトロール・清掃実施(春・秋の年2回、参加6団体)	(前期)5月23日 実施 参加6団体 (後期)10月25日 実施 予定	丸子市民生活課
3-1	14	ごみ減量化機器等購入費補助事業	循環型社会の形成に努める	ごみ減量化機器等に関する補助や情報提供を進める。	ごみ減量化機器等の購入に対する補助金交付	補助金交付件数 60件	補助金交付件数 14件(目標の23.3%) (エコオフィス改訂作業に伴い19月末締め切りとなっていることの影響多少あり)	丸子市民生活課
3-1	15	資源物回収用具収納施設設置費補助事業	循環型社会の形成に努める	資源物回収用具設置に関する補助や情報提供を進める。	資源物回収用具収納施設設置に対する自治会への補助金交付	補助金交付件数 1件	補助金交付件数 1件(目標の101%)	丸子市民生活課
3-2	16	新エネルギー活用施設(太陽光発電・太陽熱利用施設)施設	地球温暖化防止活動を推進する	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進める。	新エネルギー活用施設に対する補助金交付	補助金交付件数 120件	補助金交付件数 63件(目標52.6%)	丸子市民生活課
3-3	17	雨水貯留施設設置補助事業	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める。	雨水貯留施設に対する補助金交付	補助金交付件数 12件	補助金交付件数 4件(目標の33.3%) (エコオフィス改訂作業に伴い19月末の数値となっていることの影響多少あり)	丸子市民生活課
3-2	18	市民生活課所有車の燃料使用の抑制	市民生活課における地球温暖化防止活動の推進	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくり	市民生活課が所有する全庁用車12台のガソリン、軽油使用量の削減(平成22年度、住宅部門単独で設定した事業を、昨年度から課全体に拡大)	・ガソリン(10台分)使用量・・・昨年度から1%削減 上半期1,169ℓ 年度末2,675ℓ ・軽油車(2台分)使用量・・・昨年度から1%削減 上半期846ℓ 年度末2,187ℓ	ガソリン使用量 1180.45ℓ (目標の84.1%) 軽油使用量 854.6ℓ (目標87.3%) (エコオフィス改訂作業に伴い19月末の数値となっていることの影響により目標値より少ない数値となっている)	丸子市民生活課

平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課
5-1	20 隣保館事業の実施	環境にやさしい人をはぐくむ	住民の環境に対する意識の啓発を図る。	隣保館事業参加者に対する環境啓発「花を楽しむ会」で館周辺の花壇の花植えと寄植えを行う。 エコ料理教室を開催する。 省エネ等エコ生活への呼びかけをし、イベントを通じ市民への環境啓発を図る。	隣保館事業の開催数 90回 参加者数 20人 教室参加者数 10人		隣保館事業開催時に意識啓発を図る。 ・パソコン講座ほか全40回開催(目標の44.4%) ・解放センターたより「彩り」に【チャレンジ25】のロゴ掲載(5回発行) 6/8(金)実施参加者21人。 8/22(水)実施参加者13人。 ・エコ料理教室は、1.おいしいこと。2.見た目もおいしそうなこと。3.その上にエコをプラスする。4.ガスや電気のエネルギーを大切に使う。5.ゴミをできるだけ少なく。7.水をむだなく使う。を学び実施できた。	丸子市民生活課
3-2	21 環境保全事業	地球温暖化防止活動を推進する	ISO14001などの事業者に対する環境マネジメントシステムに関して情報を提供し、事業者を支援する。	工業3団体への説明会の実施。 団体会員への取得支援の情報を年2回以上情報提供する。			各種団体の総会・セミナー等で情報の提供を実施した。	丸子産業観光課
2-2	22 多自然型水路整備	1 自然・生き物・人が共生するまち	農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	多自然型水路を1ヶ所整備する。	実績数値による。		・4月以降自治会を通じ整備に向け計画準備中 自然型水路 L=31m	丸子産業観光課
4-2	23 花いっぱい運動参加者の増加	緑あふれるまちをつくる	住民参加により地域内の道路沿線等の緑化を図る	1 住民参加のための施策検討 2 住民参加による緑化 3 住民環境啓発	新規団体受付、植栽場所検討 住民による花苗植栽 3,000人 コンクールへの参加 球根植栽団体講習会への参加		4月 参加団体へ配布する花苗の調整 丸子地域花いっぱい運動参加団体：72団体 会員数：3,424名 6月 参加団体への花苗の配布 花苗種類9(色別等種類 17) 6月 参加団体から花と緑のまちづくりデザイン事業実施報告書の提出 7月 上田市花と緑のまちづくりコンクールへの参加呼びかけ 丸子地域花いっぱい運動団体からの応募団体部門(50㎡未満)11団体、(50㎡以上)7団体個人部門0名学校部門1校 合計20 24年度実績(18)	丸子建設課
4-2	24 住民参加による花壇管理	緑あふれるまちをつくる	市民が丸子ベルパーク内の花壇を管理することで、市民主導による地域内の緑化推進を浸透させる。	1 ボランティアによる花壇管理	ボランティア参加者 200人		4月 丸子ベルパーク花壇の花壇配置作業と本数確認 花壇配置作成 6月 花苗頒布ボランティア(延人数45名) 6月 丸子ベルパーク花壇への花苗植栽(参加者 14名)サルビア(216本)、日々草(360本)、ペチュニア(72本)、千日草(144本)、マリーゴールド(288本)、金魚草(144本)合計1,224本 6月「まるごと花と緑の会」視察研修(参加者12名)フローラルガーデン6月丸子自治センターたより掲載(ボランティア募集ほか) 6月10月 丸子ベルパーク花壇管理 合	丸子建設課

平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課
1-2	25	排水設備の普及促進	きれいな水と安全な土壌を確保する	下水道の早期接続の戸別訪問・郵送による普及促進活動	・新規接続戸数 60戸 ・水洗化率 89.6%		新規接続件数は、8月末時点で56件と順調に進んでいる。	丸子上下水道課
1-2	26	漏水調査	水資源の有効活用	有収率の向上	漏水調査 地区別漏水の委託調査 重点地区の漏水調査	本年度有収率70%台へ上げる	漏水調査は、10月に入札し業者が決定しました。調査の報告により修繕を行う予定。また、新たに発生したと思われる漏水箇所を修繕を、随時行漏水量の縮小に勤めている。	丸子上下水道課
1-2	26	浄水場運転管理	安心、安全な水道水の提供	環境に配慮した浄水場管理	浄水場、施設における消毒剤の適正な注入 河川水質検査の実施	浄水場元出し水 通常 0.8mg/l以下 末端給水栓水 通常 0.1mg/l以上 検査回数	9月まで予定どうり水質の管理が出来ている。	丸子上下水道課
3-2	27	給食計画及び献立作成/物資の購入/給食の調理及び配送	循環型社会の形成/環境を守り・親しむ/地球温暖化防止活動の推進	地元食材の利用、食品残渣の再生利用、廃食油の再生利用、バイオディーゼル燃料(BDF)の使用	地元食材の利用を促進する 食品残渣のたい肥化等再生利用を図る 廃食油のBDF化を促進する 配送車燃料にBDF使用を促進する	地元食材使用割合 45% 再生利用の取組 実施 廃食油BDF化率 100% BDF使用量 30ℓ	について、地元事業者へ家畜飼料として再利用をお願いしている。について、定期的に事業者に搬送している。 ④について、8月末現在、163ℓを使用している。	丸子学校給食センター
3-1	28	給食の調理	循環型社会の形成	調理くずの削減、残食量の削減、汚泥発生の抑制	調理くず発生量を減らす 残食量を減らす 適切な排水処理により汚泥発生を抑制する	日常の取組 実施 残食量 3500kg 汚泥発生量 0kg	について、昨年同時期より2%削減した。 について、昨年同時期より30%削減した。 について、上半期終了段階で、汚泥処理は行っていない。	丸子学校給食センター
3-2	29	丸子文化会館施設管理運営事業	良好な環境と循環の仕組みに支えられたまち	各種事業時、車両乗り合わせによる参加の呼びかけを実施します。<事業周知時における呼びかけ>	・住民環境啓発		丸子公民館・丸子文化会館で行った社会教育事業の際に開催通知に乗り合わせの呼びかけを記載した。 館内に啓発文書を掲示し周知した。 開催時、口頭で周知した。	丸子地域教育事務所
5-1	30	環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	環境教育の推進	・6月の環境月間に、展示コーナーに環境関係の本とパネル(環境保全協会から借用)を展示し、市民に啓発する。 ・11月頃本のリサイクル市を行い、除籍になった本の有効利用を図る。	・分野ごとに展示するなど見易さ、借り易さの工夫をする。 ・リサイクル図書の入替えを行わないと所の活用を図る。	6月の環境月間にあわせ、6月5日(環境の日)から6月30日までがスターデータをダウンロードして掲示し、環境関連の本の特設コーナーを、一般向け、子ども向けの3箇所を設置した。 児童コーナーの間際には、「エコ生活のすすめ」のコンテンツを作成し展示した。	丸子図書館
3-2	31	移動図書館車の運行	地球資源を活かし地球にやさしいまち	あおぞら号の利用冊数の向上を図る。	移動図書館車の運行(丸子・武石地域、年間約153日運行)	貸出冊数 21,000冊	4月～9月まで移動図書館車の運行(丸子・武石地域 78日)貸出冊数 11,184冊	丸子図書館
4-3	36	アレチウリ、ブタクサ駆除	自然保全・活用	真田地域全域でアレチウリ、ブタクサ駆除活動を推進します。	アレチウリ、ブタクサ駆除の実施	地域内の河川、公共道路の一斉駆除 私有地の所有者への駆除指導	全市域のアレチウリ一斉駆除日を6/30[日]に設定したが、真田地域の自治会では都合で外の日を含め11自治会が駆除に取組み、588人の参加で約60kgを駆除した。「アレチウリ生息なし」の報告が、17自治会よりあった。 私有地への駆除指導は広報により実施し、空き地苦情に合わせ、土地管理者本人へも直接指導した。	真田市民生活課

平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課
2-2	38 天然素材利用農道・水路整備	環境に配慮した農道・水路の整備、災害復旧工事	農道、農業用水路において、環境に配慮した天然素材を利用する工法を推進します。	自然環境や動植物に負荷の少ない間伐材や自然石を利用した農道・水路を整備する。また、間伐材などを積極的に活用し、循環型社会の形成のため利用促進を進めます。	農道・水路整備における天然素材(自然石、間伐材等)を利用を5箇所以上採用する。		他事業の依頼があり、発注にやや遅れが発生している	真田産業観光課
2-3	39 担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。(数値目標 平成25年度 8ha)	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 24年度末 5.7ha 25年度目標 8ha		公告するため、提出のあった農用地利用集積計画を定期的に報告した。	真田産業観光課
5-1	40 レンタサイクル推進事業	自動車からレンタサイクルに乗り換え二酸化炭素を減量する。	レンタサイクル利用でエコな観光施設巡りを体験し、環境負荷軽減に貢献しよう。	ゆきむら夢工房を拠点に、レンタサイクルで観光施設を巡る。	レンタサイクルの利用実績 平成25年度 延べ800台		ゆきむら夢工房を拠点に、電動アシスト付自転車により観光施設を巡る観光スタイルが定着してきた。	真田産業観光課
4-3	41 道路建設工事(歩道設置)	人にやさしいまちづくり	歩道設置を推進します	・歩道新設 L=425m (今年度の事業であるが管平での施工となるため、歩道完成は来年度となる。) ・繰越事業 歩道新設 11月完成予定	・早期発注に努め、環境に配慮しつつ安全に工事を施工する。		・繰越事業の歩道新設 L=267mは11月完成を目標に予定どおり進めており、81%完了している。 ・今年度事業は業者との請負契約を締結し、予定通り進んでいる。歩道完成は、繰越手続きを行い、来年度となる。	真田建設課
1-2	42 上水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業	きれいな水と環境保全を確保	上水道事業、公共下水道事業、農業集落排水事業を推進する	処理場の整備 管浄化センター改築更新 農集処理場の維持管理	処理場の整備 管浄化センター処理水・排水・用水各ポンプ更新設計委託 農集処理場の維持管理		長寿命化計画書の国との協議の遅れにより、更新設計委託が遅れている。	真田上下水道課
1-2	43 老朽管布設替	水資源の有効活用	有収率の向上	老朽管布設替	推定漏水量		大松1号線送水管工事発注。別荘3号線配水管工事発注。漏水調査委託発注。	真田上下水道課
5-1	44 各種講座	地域における環境保全活動の推進	各種主催イベントの際に車相乗り参加の呼びかけ	公民館学級開催 各種大会開催の際の保全活動	各種主催イベントにおける、参加者募集時にチラシ、有線放送を利用し、参加の際の車相乗りの呼びかけ		上半期実施イベントにおいて、車相乗りの周知を行なった。	真田地域教育事務所
2-2	60 多自然型水路整備	1 自然の保全・活用	農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	多自然型水路を一箇所整備する。	多自然型水路を一箇所整備する。		現在、要望ない為、事業予定なし	武石産業観光課
-2	61 武石地域全域公園化構想による地域づくり	緑あふれるまちをつくる	桜木の植栽、維持管理を推し進め、美しい空間を守り育て、環境保全を図る	緑の景観づくりを目指す。	桜並木植樹(オオヤマザクラ40本) テング巢罹病対策 ソメイヨシノ(枝打ち60本)		・植栽 40本 5月28日 作業完了 ・テング巢罹病対策 (枝打ち 70本) 6月29日 作業完了 生育は順調、緑の景観維持に努める。	武石建設課
1-2	62 排水設備の普及促進	水質の保全	下水道の早期接続	未接続者全戸へ電話での早期接続案内の実施 パンフレットの送付	未接続への電話度に集計		パンフレットの送付ができなかった。	武石上下水道課
3-2	65 事務事業全般	ゴミ、コピー用紙、光熱水量の削減等による環境配慮	ゴミ、コピー用紙、光熱水量の削減		25年度 コピー枚数 電気使用量 水道使用量 灯油使用量		10月末 コピー枚数 3,686枚 電気使用量 11,175kwh 水道使用量 305.9m <sup>3</sup>	武石診療所



平成25年度 環境目的及び目標一覧

作成日 平成26年1月15日

環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	評価	上半期の新緑状況	担当課
3-2	66	省エネに努めるエコ対策	職員、指導員及び通所利用者の環境負荷の軽減に向けた意識の変革	施設内の環境整備に努め、節電、節水、燃料の削減に努める。	ガソリン ト-外4,000ℓ <sub>月平均</sub> 333ℓ <sub>月平均</sub> 軽油 ト-外3,300ℓ <sub>月平均</sub> 275ℓ <sub>月平均</sub> 石油 ト-外4,400ℓ <sub>月平均</sub> 366ℓ <sub>月平均</sub> 電 気 ト-外26,500Kw 月平均2,210Kw		6ヶ月の実績 24年 25年度 達成率 ガソリン 1,957ℓ 月326ℓ 1,739ℓ 月389ℓ 86% 軽油 1,444ℓ 月241ℓ 1,431ℓ 月238ℓ 116% 石油 434ℓ 月72ℓ 0ℓ 月 0ℓ 100% 電 気10,899Kw 月1817Kw 9,401Kw 月1567Kw 141% 水 道 245M3 月41M3 244M3 月40M3 101%	社会就労センター武石事務所